

- 02 特集
「平成30年7月豪雨」から学ぶ
“災害から身を守る”
ということ
- 06 市長コラム
- 07 目次
イベント情報
- 08 あきたかためし
- 09 リレーコラム
元プロサッカー選手
森崎 和幸さん
- 10 行政情報
- 12 国民年金のあれこれ
- 13 健康いいカラダ
- 14 平成30年度 仕事目標の成果
- 18 あっ！ここ行ってみよ！
- 19 国保だより
- 20 いきいき介護
人輝く
- 21 HOTな話題
- 22 2020年
安芸高田市
地域活性化プロジェクト始動
- 24 げんきな親子
- 26 としょもっと
- 28 消防
- 30 警察
- 31 歴史紀行
- 32 トピックス/募集
- 34 およこび・おくやみ
- 35 6月の相談
- 36 安芸高田のアイドル



〈今月の表紙〉
「高宮町原田で行われたはやし田の飾り牛(平成30年)」

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎お太助フォン 42-2111 (代)
八千代支所 ☎お太助フォン 52-2111
美土里支所 ☎お太助フォン 54-0311
高宮支所 ☎お太助フォン 57-0311
甲田支所 ☎お太助フォン 45-4111
向原支所 ☎お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30~17:15
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市
ホームページ

http://www.akitakata.jp



6月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

6/2日 大土山田楽大花田植

☎甲田町下小原多目的広場横たんぼ
(甲田町下小原) 開12時~
☎大土山田楽団 ☎090-9733-1083



市無形民俗文化財指定の花田植。飾り牛による代掻きや楽器をはやしたてながら苗を植える様子は圧巻。うどんや飲みもののバザーもあります。

6/8土 9日 花しょうぶまつり

☎向原花しょうぶ園(向原町坂)
開8日:10時~16時/9日:9時~16時
☎観光協会 ☎お太助フォン46-7055



園内には約90種、5,000株の花しょうぶが咲き乱れ、花しょうぶの株分け切花や大根販売、写生大会やバザーも行われます。

ほたるまつり

6/8土 八千代ほたるまつり

☎上佐々井集会所周辺(八千代町上佐々井)
開18時~
☎上佐々井元気になるろう会
☎090-3633-2598



6/15土 保垣ほたる・かじか祭り

☎保垣生活センター(向原町保垣)
開16時~21時30分頃
☎実行委員会 ☎090-4142-6924



6/15土 川根ほたるまつり

☎エコミュージアム川根・やくし周辺
(高宮町川根)
開16時~22時
☎エコミュージアム川根 ☎58-0001



6/23日 まで 歴史民俗博物館春季企画展 「あきたかたの平成」

☎歴史民俗博物館(吉田町吉田)
開9時~17時 ※月曜休館
☎大人300円/小中学生150円
☎歴史民俗博物館 ☎お太助フォン42-0070



貴重な資料や写真を通じて、高田郡から安芸高田市となった平成の歴史を振り返ります。

サンフレッチェ広島
6月・7月の
公式戦日程
(ホームゲーム)

日時	対戦相手
6/15日(土) 19時~	湘南ベルマーレ
7/6日(土) 19時~	セレッソ大阪

詳しくは
P18に掲載

会場:エディオンスタジアム広島



地域循環共生圏による新たな成長の創出

2015年(平成27年)に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」やパリ協定の締結を経て、環境をビジネス化する動きが国際社会の中で急速に高まっています。また、今年6月に大阪で開催されるG20では、将来の地球環境を考慮した環境政策が論じられると聞いております。

こうした中、環境省は2019年(平成31年)の主要施策として、「第5次環境基本計画」において提示された「地域循環共生圏」を目指した取り組みを推進することとしています。「地域循環共生圏」は、各地域がその特性を活かした強みを発揮し、自立・分散型の社会を形成しつつ、相互に補完し支え合うというもので、環境だけでなく、経済や社会も同時に向上し、地域再生の原動力となることが期待されます。

本市では、国の「地域循環共生圏」を踏まえ、地域循環させることのできる資源の有効活用、廃棄物減量化への方策、環境活動(施策)の幅を広げてよりよい地域づくりが行えないか、環境活動(施

策)を数値化し効率的な事業の展開が図れないか等の検討を進めていく必要があります。具体的には、農業や畜産由来の廃棄物のメタン発酵、生ごみの堆肥化や飼料化、林地残材のチップ燃料化を組み合わせた低炭素型の循環システムを構築し、地域にあるバイオマス資源を地産・地消することが考えられます。地域循環型の社会の構築を図り、環境ビジネスの創出による地域の活性化や財源の削減に寄与し、市を元気にしたいと思っております。

ごみ・し尿についても、これまでの「廃棄物」の考え方から「地域循環資源」として捉える視点が大切だと思っております。ごみ処理・し尿処理について、サービスの質が低下しないよう考慮したうえで民間委託し、環境ビジネスの推進を担うことも必要と考えます。

特に本市のごみ処理については、北広島町と芸北広域環境施設組合を設立し、共同処理を行っていますが、平成7年に建設した焼却施設は老朽化が進んでおり、今後に向かって市として多様なごみ

処理の検討が必要な時期となっております。「地域循環資源」として、ごみ処理の手法を検討する絶好の機会であるとも思っております。

香川県三豊市では、民間企業が「トンネルコンポスト」と呼ばれる方式で、ごみを固形燃料に資源化し、近くの製紙工場で燃料として使用している画期的な事例があります。

ごみ処理については、事業化が進んでいますが、し尿処理については、研究途上の分野で、近い将来必ず事業化が実現すると思っております。し尿処理で得たエネルギーで車が走行する時代は遠くないと考えます。

